

経営後継者研修だより

10月のトピック 経営者としてのあるべき姿の指針を定め、自社沿革・経営理念を分析しました。

10月のテーマは、経営者マインドの醸成と自社沿革・経営理念の分析です。経営者マインド開発の講義では、「経営者」としてどうあるべきか、また企業を經營することの意義を考え、後継者として、「何をすべきか」、「どうありたいか」を考えます。10月15日（金）の午後には、当研修第40期卒業生の株式会社カネコ小兵製陶所 伊藤祐輝氏、同社代表取締役 伊藤克紀氏を講師としてお招きし、研修中での体験談や帰社後の現況、派遣時のお考え、期待などのお話を伺いました。

自社沿革・経営理念分析では、自社の歴史や伝統、沿革を深く調べます。創業の精神や経営の哲学などを理解することは、現経営者と対話をする上での土台となります。

今号より第42期生広報委員の4名に「経営後継者研修だより」の執筆にご協力をいただきます。10月の講義受講後の感想や気づきについて伺いました。

私たちが広報委員です！



経営後継者研修とその後の私の経営観【OB講演】

伊藤祐輝氏のOB講演より、研修中や研修前後の話聞くことで少年漫画の主人公のような著しい成長をされたことがわかりました。特に印象に残っていることとして、研修前はいかにして現経営者（父親）を超えるかであったが、研修後はいかにして現経営者のバックアップができる人になるかという考えに変わったということでした。現在、私は経営後継者研修にて、様々な会社の経営コンサルタントの講師から経営に関することを学んでいますが、伊藤氏の講演はそのような講師並みのプレゼン力でしたので、没入し過ぎてしまいうっかりメモを取ることを忘れるほどでした。【株式会社昭栄 黒田智隆】

今回私たちは40期経営後継者研修の卒業生である（株）カネコ小兵製陶所の伊藤祐輝氏と社長の伊藤克紀氏の講演を聞きました。この講演で私が感じたことは経営をする上で必要なスキルや知識を学ぶことも大切ですが、10か月間の研修で一番大切にすべきことは後継者となる決意、後継者として自社の為に将来何が出来るかを考えること、経営者マインドそして同じ境遇の後継者とこの先も続く人間関係をしっかり築くことであると感じました。また10か月間をより良い研修にするために必要なテクニックも聞けたので実践して行きたいと思いました。【三峰電気株式会社 澤田知紘】



OB講演の様子



自社沿革・経営理念分析（面談）の様子

自社沿革・経営理念分析（導入講義・面談）

私はこの講義を受けて、自社を知る事の大切さを初めて知りました。自社の沿革と経営理念、なんとなく知っているだけで、ここまで深く考えることは今までありませんでした。私自身この研修がなければ深くは知ろうとは思わないことです。自社にどのような歴史があり、どのような成長、衰退があったのか、どれだけ多くの方に支えられてきたのか。知れば知るほど感慨深いものがありました。何よりも知っておかなければいけないのは「経営者の思い」。この講義のおかげで一番大事なことを学びました。

【竹下産業株式会社 竹下将広】

私が生まれるずっと前から自社はあり、どこかで存在していることが当たり前のように思っていたかもしれません。 自社沿革を調べ創業者・社長の思いを知り、現在に至るまでに自社がどのような成長要因があつて、困難を乗り越えてきたのか、知らないことばかりでした。また、講義を通して経営理念の重要性を再認識し、言葉に込められた意味を社員一人一人が腹落ちするように、伝えることが大切ではないかと感じました。先生との面談では客観的に自社を捉えられ、自分では気づかなかつた点を質問して頂くことにより深掘ることができ、今回の分析によって自社のことを深く知り、誇りに思える機会となりました。

【富士見工業株式会社 山本縁】

INFORMATION

東京校 企業研修課からのお知らせ

◆第43期経営後継者研修 **第一次募集の締め切りは、2022年3月31日（木曜）**です。

来年2022年10月3日（月曜）開講、第43期生の申込みを受け付けています。

定員になり次第、募集を締め切ります。ご受講を検討されている方は、お早めにお申し込みください。